



ROCK PAINT

高日射反射率(遮熱)塗料用 下塗材

シャネツロック シーラー・プライマー

■シャネツロックシーラー

高日射反射率(遮熱)塗料用 弱溶剤二液型エポキシシーラー

- 容量：15kgセット
 - 115-2320 シャネツロックシーラー (主剤) 12.5kg
 - 115-2920 シャネツロックシーラー 硬化剤 2.5kg
- 配合：(主剤) 5：1 硬化剤
- 色相：ホワイト
- 可使用時間：7時間(23℃)、4時間(30℃)

■特長

- シャネツロックルーフSi及びシャネツロック外壁用の遮熱性能を最大限に発揮させ、塗膜表面の温度上昇を抑制します。
- 素材の劣化要因の1つである温度差による素材収縮等が軽減でき、素材の保護能力が向上します。
- 特殊なエポキシ樹脂を採用しており、各種素材によく浸透します。
- ぜい弱素材の表面を補強するとともに、すぐれた付着性を発揮します。

■被塗物素材

- コンクリート、モルタル、窯業系サイディングなど
- コンクリート系屋根、屋根材(セメント、スレート瓦)、住宅用化粧スレート(新屋根材)など
- ②アクリル板、軟質塩ビ、陶器瓦、洋風コンクリート瓦(モニエル瓦、スカンジア瓦など)、アスファルトシングル材には適しません。

■標準塗装仕様

■コンクリート、モルタル面、窯業系サイディングボード等塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合(%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能 時間(23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。またエフロレシンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。				
下塗り	シャネツロックシーラー 配合比(重量) 主剤：硬化剤=5：1	塗料用シンナー ハケ、ローラー：0～10 エアレス：0～10	1	0.10～0.13	4時間以上 7日以内
上塗り	シャネツロック外壁用 配合比(重量) 主剤：硬化剤=9：1	塗料用シンナー ハケ、ローラー：5～15 エアレス：10～20	2	0.11～0.13	2時間以上 7日以内

■コンクリート系屋根、住宅用化粧スレート(新屋根材)などの塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合(%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能 時間(23℃)
下地調整	高圧洗浄によりゴミ、汚れ、カビ、こけ、藻などを完全に除去する。高圧洗浄ができない場合は、ホースで水を流しながらデッキブラシ、金属ワイヤーブラシなどを用いて入念に除去する。旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分はケレン具を用いて完全に除去し、乾燥した清浄な面とする。				
下塗り	シャネツロックシーラー 配合比(重量) 主剤：硬化剤=5：1	塗料用シンナー ハケ、ローラー：0～10 エアレス：0～10	1	0.10～0.13	4時間以上 7日以内
上塗り	シャネツロックルーフSi 配合比(重量) 主剤：硬化剤=9：1	塗料用シンナー ハケ、ローラー：5～15 エアレス：10～20	2	0.11～0.13	2時間以上

注) 夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず実施してください。上塗りとの付着性が低下します。

■シャネツロックプライマー

高日射反射率(遮熱)塗料用 弱溶剤二液型エポキシプライマー

- 容量：16kgセット
 - 115-2520 シャネツロックプライマー (主剤) 14.4kg
 - 115-2020 シャネツロックプライマー 硬化剤 1.6kg
- 配合：(主剤) 9：1 硬化剤
- 色相：ホワイト
- 可使用時間：5時間(23℃)、3時間(30℃)

■特長

- シャネツロックルーフSi及びシャネツロック外壁用の遮熱性能を最大限に発揮させ、塗膜表面の温度上昇を抑制します。
- 素材の劣化要因の1つである温度差による素材収縮等が軽減でき、素材の保護性能能力が向上します。
- 浸透性にすぐれた特殊エポキシ樹脂の採用で、すぐれた付着性を発揮します。
- 特殊防錆顔料を採用した環境対応型のサビ止め塗料で、高防食性を有します。

■被塗物素材

- 金属サイディング、金属パネルなどの各種金属面
- 金属系屋根(トタン屋根、鋼製屋根材)など

■標準塗装仕様

■金属サイディング、金属パネルなど各種金属面の塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合(%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能 時間(23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、さびなどは電動工具、手工具で除去する。チョーキングした面、汚れ、じんあいなどはサンドペーパー、ウエス等で除去し、乾燥した清浄面とする。				
下塗り	シャネツロックプライマー 配合比(重量) 主剤：硬化剤=9：1	塗料用シンナー ハケ、ローラー：0～5 エアレス：5～10	1	0.13～0.15	4時間以上 7日以内
上塗り	シャネツロック外壁用 配合比(重量) 主剤：硬化剤=9：1	塗料用シンナー ハケ、ローラー：5～15 エアレス：10～20	2	0.11～0.13	2時間以上 7日以内

■トタン屋根などの塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合(%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能 時間(23℃)
下地調整	電動工具、手工具を併用し、黒皮や赤錆を念入りに除去する。また、旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ部分等は、ケレン具を用いて完全に除去する。高圧洗浄等でよく清浄を行い、乾燥した清浄な面とする。				
下塗り	シャネツロックプライマー 配合比(重量) 主剤：硬化剤=9：1	塗料用シンナー ハケ、ローラー：0～5 エアレス：5～10	1	0.13～0.15	4時間以上 7日以内
上塗り	シャネツロックルーフSi 配合比(重量) 主剤：硬化剤=9：1	塗料用シンナー ハケ、ローラー：5～15 エアレス：10～20	2	0.11～0.13	2時間以上



ロックペイント株式会社

シャネツロックシーラー・プライマー

高日射反射率(遮熱)塗料用
下塗り材

■施工上の注意(シャネツロックシーラー・シャネツロックプライマー)

- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分などの汚れやはがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜が出来にくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 大きな素穴、目違い、不陸、クラックなどは、セメントフィラー、樹脂モルタルで補修してください。(補修後はシーラーを塗装してください。)
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。
- エマルジョンパテの外部での使用は避けてください。
- 飛散防止のため、必ず養生を行ってください。
- 改修塗装の場合、素地の種類によって塗膜不良となることがあります。あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りすることをお勧めします。旧塗膜のチョーキング層は高压洗浄で除去してください。
- 旧塗膜の種類により、シーラー又はプライマー塗装後リフティング(ちぢみ)を起こすことがあります。塗装前に試し塗りを実施してください。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜(弾性リシン、弾性スタッコ)やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、ふくれが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 塗装間隔を守ってください。塗装間隔が長くなりますと付着性が低下して上塗り塗料と層間剥離を起こすことがありますので注意してください。
- 高温下では硬化反応が著しく早くなります。塗り重ね間隔はあまり日数を置かずやかに実施してください。
- シーラー又はプライマー塗装後、使用方法の上塗り可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、アムブレッド(黄変)、塗膜不良を起こすことがありますので、必ず所定の時間を守って上塗り塗装してください。
- シーラー乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- 各数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。下地の状態、気象条件、塗装方法などにより多少異なる場合があります。
- 塗装時および塗装後は換気を良くしてください。
- コンクリート、モルタル系素地の吸い込みが大きい場合、ぬれ感が出る程度が適量です。素地の下地処理、含水率などによりシーラーの塗付量が大幅に変わります。あらかじめ試し塗りを行い、所要量を確認してください。
- 塗り重ね時間はコンクリート、モルタル系素地の吸い込み程度により大きく異なることがあります。
- 可使時間は厳守してください。混合後反応が進むと含浸性が低下します。
- コンクリート、モルタル、窯業系サイディングなど吸い込みの小さい素地に塗装する場合、必要以上に厚塗りすると剥離の原因となりますので注意してください。
- シーリング材への塗装は、塗膜の汚染、剥離、われの原因となりますので避けてください。やむを得ず塗装する場合は、シーリング材が完全に硬化したものと、塗り重ね性を確認し必要な処理を行ってください。
- サイディングボード表面に反り、うねりが発生している場合は、ビスの増し打ちなど状況に応じた補修を行ってください。また補修が困難な場合はボードの張り替えをご検討ください。
- アスファルトシングル材、洋風瓦(モニエル瓦、スカンジア瓦など)、粘土瓦(いぶし瓦、釉薬瓦)への塗装は避けてください。
- トタン屋根部など通常温度が高くなると工程間隔が短くなり、プライマーと上塗り塗料との付着性が低下して層間剥離をおこすことがありますので注意してください。このような場合、4時間乾燥させた後、あまり日数を置かず速やかに次の工程を行ってください。もし長期間経過した場合はサンドペーパーまたはパワーブラシで表面を研磨した後、脱脂等清浄な面とした上で上塗り塗装してください。
- 素地が濡れている時は塗装を避け、乾いてから塗ってください。また、直射日光などで極端に熱くなっている時は、少し冷えてから塗ってください。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので素地調整後プライマーで補修塗装を行ってから塗ってください。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、塗膜不良となることがあります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られない場合があります。
- 先に塗りにくいところを塗ってから、また高い所から下の方に降り口を確保しながら塗ってください。塗りたての面は滑りやすいので、絶対に乗らないでください。塗り残しがあった場合も乾燥後に補修塗りをしてください。
- 作業時の安全には十分注意し、高所で作業する場合は安全ロープをかけて行ってください。
- トタンの折曲げ部分、継ぎ目部分などは、膜厚が十分得られない場合がありますので、先に拾い塗りすることをお奨めします。
- 亜鉛メッキ鋼板の目付量が多い場合には、3~4ヶ月屋外放置後表面の光沢がなくなつてからプライマーを塗装してください。
- ドアバックキや緩衝材など可塑性を含むプラスチック製品に直接塗装すると塗膜が軟化することがあります。そのような箇所への塗装は避けてください。
- その他カタログに記載されていない素地及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥をおこすことがありますので、使用前に最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 有機溶剤を使用するため、施工、保管には十分に注意してください。
- 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- このカタログに記載されている上塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。

■安全衛生上および取扱い上の注意

〔製品の危険・有害性〕

- 引火性の液体である。
- 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になるおそれがある。
- 大量または継続的な暴露により健康障害を引き起こすおそれがある。
- 目、皮膚、粘膜などに対し刺激性がある。
- 感受性があり、皮膚に付着するとかぶれやアレルギーを引き起こすおそれがある。

〔救急処置〕

- 目に入った場合には直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは、医師の診察を受けてください。

〔施工後の安全性について〕

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分注意を払うようご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなど立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

〔取扱い注意事項〕

- 取扱いは引火源のないところで行い、特に静電気が発生するような衣服の着用や、取扱いは避けてください。
- 取扱い作業所には局所排気装置を設け、塗装時および乾燥時には十分に換気をしてください。
- 溶剤蒸気やスプレーダストを吸引しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
- できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋(耐溶剤性)、長袖作業着などを着用してください。
- アレルギー体質の人は取り扱わないでください。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分にを行い、作業着等に付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

※安全データシート(SDS)をよく読んでからご使用ください。



ロックペイント 株式会社

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000

札幌営業所 〒003-0011 札幌市白石区中央一条4-3-48
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304

仙台営業所 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-3-11 凌正ビル201
TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255

西関東営業所 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1-15-16
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112

大阪営業部 〒555-0033 大阪市淀川区姫島3-1-47
TEL(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000

名古屋営業所 〒454-0059 名古屋市中川区福川町1-1
TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433

岡山営業所 〒701-1134 岡山市北区三和1000番34
TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966

福岡営業所 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3-2-1
TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

URL <http://www.rockpaint.co.jp>

●本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店